

「奈良県女性の輝き・活躍促進計画」（第3次奈良県男女共同参画計画）の目標指標の推進状況（令和元年度）

I 成果指標(アウトカム)

昨年度より現況値と進捗状況が更新されているものは赤字で記載しています。

解決の 方途	目標	策定 当初値	年度・ 時点	現況値	年度・ 時点	目標値 (R2年度)※4	進捗状況の分析	値の出典	担当課
マインド	固定的な性別役割分担意識を払拭する (固定的な性別役割分担意識に肯定的な人の割合)	49.6%	H26	42.9%	R元	40%	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という固定的性別役割分担意識に肯定的な人の割合は、前回調査に比べ6.7ポイント減少したが、全国に比べ7.9ポイント高い。 固定的性別役割分担意識に否定的な人の割合は、男女別・年代別すべての中で1位が女性の20歳代で71.2%、2位が男性の20歳代で69.7%。これは、前回調査と比べると、いずれも15ポイント以上の増加。 今後とも引き続き性別役割分担意識払拭に努める。	奈良県女性活躍推進に関する意識調査	女性活躍推進課
	長時間労働の削減等により働き方を見直す (長時間労働(週間労働時間60時間以上)の男性雇用者の割合)	17.5%	H24	13.6%	H29	12%	長時間労働の男性雇用者の割合が下がり、全国順位も前回調査の4位から14位となった。今後、更に仕事と家庭の両立支援の取組を推進する。	就業構造基本調査(5年毎)	雇用政策課 女性活躍推進課
フィールド ・スキル	女性が働き続けられる (女性の就業率(25~44歳))	61.4%	H22	67.8%	H27	70%	5年間で6.4ポイント高くなったものの全国平均72.6%に比べて4.8ポイント低く、依然として全国最下位である。今後とも引き続き女性の就労継続、再就職支援及び仕事と家庭の両立支援に取り組み、就業率の向上に努める。	国勢調査(5年毎)	雇用政策課 女性活躍推進課
	女性が働き続けられる (第1子出産前後の女性の継続就業率)	39.6%	H25	52.8%	H30	55% (R元)	第1子出産を機に退職する女性は、前回調査に比べ減少し、継続就業率は13.2ポイント上昇した。今後とも女性の継続就業となる取組を進める。	奈良県	女性活躍推進課
	女性の登用が進む (管理的職業従事者における女性の割合)	12.1%	H24	14.5%	H29	20%	県の割合は、全国平均14.8%を下回っているものの、5年間で2.4ポイント高くなっており、全国順位は前回(H24)の29位から25位(H29)となっている。今後とも関係機関と連携し、なら女性活躍推進倶楽部の事業を進めることで、女性の登用を図る。	就業構造基本調査(5年毎)	雇用政策課 女性活躍推進課
	女性の社会参画が進む (女性のボランティア活動の行動者率)	28.8%	H23	27.1%	H28	35%	平成28年度において、平成23年度を下回ったものの、全国平均(26.9%)は上回っている。ボランティアの活発化、活性化を図るための確で幅広いボランティア活動を提供するサイト「奈良ボランティアネット」において、ボランティア情報やイベント・講座情報等を随時情報提供している。	社会生活基本調査(5年毎)	青少年・社会活動推進課
ライフ	女性が安全・安心に暮らせる (DVの相談件数)	1,406件	H26	690件	R元	(参考指標)	平成26年度をピークに、県のDV相談件数は減少傾向にあるが、今後もDV被害者からの相談に対応するとともに、身近な相談窓口である市町村のDV対策促進のため支援に取り組む。	奈良県	こども家庭課
	女性が健康に暮らせる (女性の健康寿命(65歳平均自立期間))	全国33位	H26	全国25位	H30	全国1位 (R4)	女性の健康寿命(65歳時)は、H26~H28年まで上昇(延伸)傾向で、H29年に全国順位・健康寿命ともに下がったが、H30年に持ち直した。 [H26:20.65年(全国33位) → H27:20.80年(全国28位) → H28:21.04年(全国18位) → H29:20.89年(全国33位) → H30:21.05年(全国25位)]	奈良県	健康推進課

※4 目標年度は令和2年度ですが、それ以外の場合は目標年度を目標値欄の()内に記載しています。

II 行動指標(アウトプット)

★目標値の進捗状況

○行動指標(アウトプット)は全部で44項目。

うち、**策定当初値より上がっているのは21項目で、全体の48%**。

○5年間で累計を達成しようとする行動指標は10項目で、**単年度平均値を令和元年度に達成しているものは、6項目(14%)**となっている。

○比較的順調に進んでいる上記2つの項目を合計すると27項目となり、44項目全体の61%となっている。

○しかし、全体のおよそ36%(16項目)は数値が下がっているため、今後とも目標達成に向けて更に取組をすすめていく。

進捗状況	「策定当初値との比較」欄	項目数	全体に占める割合
策定当初値より上昇		21	48%
策定当初値と同値		1	2%
// 下降		12	27%
累計目標で、単年度平均値を達成		6	14%
// 単年度平均値を未達成		4	9%
		44	100%

解決の 方途	区分 ※3	目標	策定 当初値	年度・ 時点	現況値	年度・ 時点	目標値 (R2年度)※4	現状値との 比較	進捗状況の分析	値の出典	値の出典	
マインド	教育*	県民会議における企業・団体の男女共同参画推進取組事業数	119件	H26	96件	R2	150件		事業数の多い1団体が組織解散に伴い委員解職したこと等により、事業数は昨年度に比べ24件減少した。引き続き、委員に対し積極的な事業取組を働きかけ、事業数増加を図る。	奈良県	女性活躍推進課	
		男女共同参画啓発イベント等を実施する市町村数	21市町村 (53.8%)	H27	39市町村 (100%)	R2	39市町村 (100%)		今年度、男女共同参画週間(6/23-29)にちなみポスター掲示を働きかけ、本年度、目標を達成した。今後も引き続き、全市町村で男女共同参画週間期間の県民への啓発を推進するために市町村担当課長会議等を通じて市町村に継続実施を働きかけていく。	奈良県	女性活躍推進課	
		教職員における男女共同参画に関する研修の受講者数	2,658人	H23~ H26計	2,937人	H28~R元計	3,250人 (H28~R2計)		初任者研修や中堅教諭等資質向上研修、管理職研修等、各キャリアステージでの講座において、男女共同参画に関する研修を計画的に実施することにより、積極的な受講を推進している。	奈良県	教育研究所	
	教育/ 仕事*	若者の自立を図るキャリア教育の推進 (職場体験、インターンシップ等体験実施校の割合)	中 97.1% 高 78.0%	H26	中 96.1% 高 95.0%	R元	100%		・中学2年生で3日間の職場体験実施が最も多かった。本年度は職場体験以外のキャリア教育を実施した市町村などがあり昨年度より実施校数が減少したが、望ましい勤労観、職業観を育む体験活動として引き続き実施を促進していきたい。 ・県内公立高等学校の全日制においては全ての学校で実施している。今後も高校生の就業におけるミスマッチを減らし、離職率を下げるためにも、インターンシップ等の実施を促進していきたい。	奈良県	学校教育課 教育研究所	
	家庭・ 地域*	男女共同参画セミナー等における男性の受講者数	81名	H26	692名	H28~R元計	600名 (H28~R2計)		令和元年度において目標を達成済み。男女共同参画推進セミナーでは、男性も興味を引くテーマを設定している。また、男性のみ対象の講座も毎年開催すると共に、教員向けの研修を実施したことで男性受講者が増加している。	奈良県	女性センター	
		男性の家事関連従事時間(1日平均)	44分	H23	53分	H28	55分		目標達成に向けて、引き続き男性の育児参画を推進する取組を実施。	社会生活基本調査(5年毎)	女性活躍推進課	
	仕事*	県男性職員の「育児参加のための休暇」※1 取得率	32.0%	H26	50.0%	R元	80%		配偶者の出産時期が年度により差があるため一概には言えないが、今後も休暇取得を促していく。	奈良県	人事課	
		企業における男性の育児休業取得率	0.5%	H26	2.0%	R元	13%		男性の育児休業取得率は依然低い状況にある。引き続き県内事業所における男性も含めた従業員の育児休業取得支援を行う。	奈良県職場環境調査	雇用政策課	
	フィールド	安全・ 安心	養育里親登録数	89件	H26	102件	R元	159件 (R元)		里親支援・啓発業務を委託した結果、件数も増えているので、今年度も引き続き業務委託をし里親登録数を増やしていく。	奈良県	こども家庭課
		家庭・ 地域*	なら子育て応援団登録店舗数	1,759店舗	H26	1,741店舗	R元	1,800店舗 (R元)		新規登録はあるが、大手コンビニエンスストアなどの閉店も多く、登録数は流動的なところがある。デジタルサイネージ(電子掲示板)での啓発など機会をとらえた周知に努める。	奈良県	女性活躍推進課
「利用者支援事業」※2 実施箇所数			8箇所	H27	37箇所	R元	28箇所 (R元)		主に母子保健型が増加したことにより、目標を達成した。	奈良県	女性活躍推進課	
地域子育て支援拠点設置箇所数			69箇所	H26	77箇所	R元	126箇所 (R元)		設置箇所数は増加しており、引き続き市町村への働きかけを実施する。	奈良県	女性活躍推進課	
保育所入所待機児童がいる市町村			7市町	H27	10市町	R2.4.1	0市町村 (R2)		保育料の無償化による保育ニーズの高まりや、保育士不足等により待機児童解消にはいたっていない。	奈良県	奈良っ子はぐみ課	

解決の方途	区分※3	目標	策定当初値		現況値	目標値 (R2年度)※4		現状値との比較	進捗状況の分析	値の出典	値の出典
			年度・時点	年度・時点		年度・時点	年度・時点				
フィールド	家庭・地域*	保育士人材バンクにおける就職あっせん数	125人	H26.7～H27.12計	449人	H26～R元計	350人 (累計) (H26～R元計)		目標を達成済み	奈良県	奈良っ子はぐくみ課
		放課後児童クラブ利用待機児童がいる市町村数	5市町	H27	5市町	R2.7.1	0市町村 (R元)		保育ニーズの高まりにより、待機児童解消にはいたっていないが、引き続き支援員の確保及び受け入れのための施設整備に努める。	奈良県	奈良っ子はぐくみ課
		放課後児童支援員認定数	—		1220人	H27～R元計	1,200人 (累計) (H27～R元計)		目標を達成済み	奈良県	奈良っ子はぐくみ課
		介護員（ヘルパー）養成数	1,214人	H26	386人	R元	1,500人		「介護職員初任者研修支援事業」(修了者一人当たり上限5万円の補助)を実施しており、引き続き介護職員の確保及び資質向上に努める。	奈良県	長寿・福祉人材確保対策課
		自治会長に占める女性の割合	7.4%	H27	9.0%	R元	10%		R元年度に女性数が増加した市町村は9市町村で、減少した市町村数(6市町)を上回り、女性比率は増加した。	市町村推進状況調査	女性活躍推進課
		男女共同参画社会の形成の促進を図る活動をしているNPO法人数	68法人	H26	70法人	R元	90法人		男女共同参画社会の形成の促進を図る活動を目的にしているNPO法人数はH26年度当初値から微増、昨年度より1法人減となっている。なお、NPO法人全体として法人数は減少傾向にあり、奈良県の認証法人数もH26年度と比較し2法人減少している。	奈良県	青少年・社会活動推進課
	仕事*	企業立地件数と企業立地に伴う雇用創出数	—		129件 1188人	H27～H30計	100件の企業立地とそれに伴う1,000人の雇用の場を創出 (H27～H30計)		H27～H30年の4年間で129件の企業立地を果たし、当該4年間で立地した企業による雇用創出数は1,188人であり、目標を達成した。	工場立地動向調査 奈良県	企業立地推進課
		県内企業の大学卒業後就職3年目までの離職率	39.3%	H23.3卒	40.8%	H28.3卒	34.9% (H31.3卒)		県内企業の大学卒業後就職3年目までの離職率は、高値にある。引き続き就職後の雇用定着に向けた取組に努める。	奈良労働局	外国人・人材活用推進室
		奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業登録企業数	84企業	H26	201企業	R2.4.1	160企業 (R元)		目標達成済み。登録数を増やすため、さらなる事業周知を図る。	奈良県	雇用政策課
		「子育て女性就職相談窓口」の相談件数	1,188件	H26	812件	R元	1,500件		相談件数はH28年度までは横ばいだったが、年々有効求人倍率が上昇し、じっくり相談しなくとも就職決定に至るケースが増えたことから、平成29～令和元年度は減少。令和2年度からは再就職女性のニーズに合った運営を目指し、「奈良県女性の再就職準備相談窓口」としてリニューアルし、引き続き周知に努める。	奈良県	女性活躍推進課
		女性の仕事時間（1日平均）	4時間50分	H23	4時間43分	H28	5時間10分		男性(6時間46分)と比較し、短い時間となっている。引き続き、女性の就労支援及び仕事と家庭の両立支援に取り組むとともに、「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識の解消に努める。	社会生活基本調査(5年毎)	女性活躍推進課
		母子家庭等就業・自立支援センター（スマイルセンター）のバンク登録者の就業率	41.4%	H26	31.2%	R元	50%		就業者の総数は前年並みだが、バンク登録者数が増加したため就業率が減少した。ハローワーク等関係機関との連携を密にして就業者数の増加を図る。	奈良県	こども家庭課
		農業経営における家族経営協定締結数	206件	H26	224件	R元	240件		家族経営協定の締結数は徐々に増えている。一方、目標達成のためには、家族経営協定の啓発をなお一層推進する必要がある。	奈良県	担い手・農地マネジメント課
		県職員の管理職における女性の割合（課長補佐級以上）（医療関係職員、教育委員会、県警を除く）	10.9%	H27.4.1	15.1%	R2.4.1	15%		R2.4.1において、目標を達成。引き続き、女性の管理職登用を進める。	奈良県	人事課
		校長・教頭職における女性の割合（公立のみ）	9.5%	H27.4.1	16.7%	R2.4.1	15%		管理職選考試験への積極的な受験働きかけの結果、試験合格者の増加へ繋がった。女性校長は小中学校で5人増、県立学校で1人減、女性教頭は小中学校で3人増、県立学校で3人増となり、全体で10人増加した。	奈良県	教職員課
		県審議会等における女性の割合	32.0%	H27.3.31	31.3%	R2.3.31	40%		昨年度と比較して、女性委員数は減少したが、総委員数も減少したため、割合としてはほぼ横ばいとなっている。女性委員登用率の低い審議会等の所管課に対し、今後も女性委員の登用を促進するよう働きかけていく。	奈良県	女性活躍推進課 行政・人材マネジメント課
		市町村審議会等における女性の割合	22.1%	H27.3.31	24.5%	R2.3.31	30%		女性委員数は策定当初値と比べて2.4ポイント増え、昨年度に比べ微増。今後も女性委員数増に向けて働きかける。	市町村推進状況調査	女性活躍推進課

解決の 方途	区分 ※3	目標	策定 当初値		現況値	目標値 (R2年度)※4		現状値との 比較	進捗状況の分析	値の出典	値の出典
			年度・ 時点	年度・ 時点		年度・ 時点	年度・ 時点				
スキル	教育*	ひとり親家庭の子どもの「大学等進学率」※5	58.2%	H26	58.5%	R元	65% (R元)		ひとり親家庭では大学等への進学についての不安に「経済的な負担」を挙げる保護者が多数を占める。引き続き、母子父子寡婦福祉資金貸付金として、子どもの進学時、入学金や授業料等に充てるための修学支度資金・修学資金の貸し付けを行うなど、経済的支援を実施する。	奈良県	こども家庭課
	家庭・ 地域*	地域の防災活動で活躍できる人材(防災リーダー)養成数	1,421人	H18～ H26計	2,620人	H18～R元合計	2,300人 (累計)(H18～R元計)		H30年度時点において目標値を達成済み。	奈良県	安全・安心 まちづくり推 進課
	仕事*	職業訓練修了者の就職率	90%	H26	93.5%	R元	92% (R元)		訓練生に応じた就職支援を行うことにより就職率は高い水準を維持し、目標達成した。	奈良県	雇用政策課
	仕事*	女性の活躍応援関連講座受講者数	470名	H26	2,578名	H28～R元計	2,500名 (H28～R2計)		女性が個性と能力を十分に発揮しチャレンジする意識をもってもらうため、アンケートにより講座のニーズを把握し、それに基づいてテーマ設定を行った。R元年度は働く女性応援講座11について、2講座を2日間で行うはずであったところ、台風により1日にまとめて実施した。また、新型コロナウイルスにより働く女性のトークサロンを1講座中止した。その結果、受講人数は合計45名減少したが、H28～R2の目標値を達成した。	奈良県	女性セン ター
		キャリアアップセミナーの受講者数	154人	H23～ H26計	271人	H23～R元計	340人 (累計)(H23～R2計)		なら女性活躍推進倶楽部事業の一環として実施し、倶楽部会員登録をしている企業の女性職員へアプローチし14名の参加があった。今後は、より県内企業のニーズに合ったセミナー内容とするため、企業や支援団体への調査を行うとともに、企業内で参加希望者を募りやすくするよう、周知にも工夫をしていく。	奈良県	女性活躍推 進課
		女性の起業セミナーの受講者数	159人	H25～ H26計	1,493人	H25～R元計	270人 (累計)(H25～R2計)		起業後間もない女性や起業を目指す女性を対象とし、起業仲間や支援機関とのつながり作りができる機会を提供したことにより、令和元年度は68名の参加があった。	奈良県	女性活躍推 進課
ライフ	安全・ 安心	DV予防啓発出前授業の実施校数	21校	H25～ H27計	51校	H25～R元計	61校 (累計)(H25～R2計)		デートDVの啓発事業を県内高校6校で実施。実施校数は増加しているが、累計51校に留まった。今後とも、より多くの高校生に交際相手からの暴力(デートDV)の予防啓発の意識を持ってもらうため、未実施の高校に対し実施を働きかける。	奈良県	女性活躍推 進課 こども家庭 課
	健康	性・妊娠等の思春期の課題に対する学校への専門家派遣件数	84校	H26	34校	R元	100校		思春期教育を行う助産師・保健師等の専門職の人材不足もあり、年々件数が減少している。今後、思春期教育を実施できる人材育成が課題となっている。	奈良県	健康推進課
		県立学校におけるエイズ等感染症に関する学習を実施している学校の割合(教科の保健学習を除く)	24.2%	H26	13.0%	H30	50%		学習指導要領(平成25年度年次進行)実施にともない、教科書が改訂され、教科保健の中で、より詳しくエイズと関連付けた性感染症の学習をするようになったため、エイズ等感染症に特化した学習を実施する学校の割合が減少したため、現状値が下がった。	奈良県	保健体育課
		子宮頸がん検診受診率	39.2%	H25	38.3%	H28	50% (H29)		子宮頸がん検診受診率は横ばい状態。がん検診の実施主体は市町村であることから、県では個別受診勧奨・再勧奨を支援し、土日曜日の検診や特定健診や他のがん検診とのセット検診を勧める等、受診率向上をめざしている。奈良県がんと向き合う日に合わせ、県民だより奈良に啓発記事を掲載したり、子宮頸がん検診啓発チラシを街頭啓発で配布している。	国民生活基礎 調査	疾病対策課
		乳がん検診受診率	39.4%	H25	40.9%	H28	50% (H29)		乳がん検診受診率は1.5ポイント上昇。がん検診の実施主体は市町村であることから、県では個別受診勧奨・再勧奨を支援し、土日曜日の検診や特定健診や他のがん検診とのセット検診を勧める等、受診率向上をめざしている。奈良県がんと向き合う日に合わせ、県民だより奈良に啓発記事を掲載したり、奈良県民会議では、乳がんを体験したタレントによる講演会を実施し、がん検診による早期発見の重要性について周知啓発を行っている。	国民生活基礎 調査	疾病対策課
		奈良県総人口に占める認知症サポーター、キャラバンメイトの人数	3.3%	H27.1	113,454人	R2.3	135,600人 (R元)		前年度に比べ約13,000人増加した。今年度も引き続き認知症サポーター養成に努める。 ※国が策定した新オレンジプランにおいて、認知症サポーター養成の目標数が800→1200万人に引き上げられたことに伴い、奈良県の目標数についても80,000人→135,600人に変更を行った。	奈良県	地域包括ケ ア推進室
推進体制	男女共同参画計画策定市町村数	12市町村 (30.8%)	H27	17市町村 (43.6%)	R元	20市町村 (51%)		策定市町村数は微増であるが、毎年確実に策定数を増やしている(H30は15市町)。昨年度は2村をモデルとして計画策定支援を実施したため、策定市町村数は増加した。市町村担当課長会議等を通じて、他の未策定町村に対し、計画策定について継続して働きかけるとともに、令和元年度に作成した町村向け計画策定マニュアルを活用して、策定予定の町村に対し支援を行う。	市町村推進状 況調査	女性活躍推 進課	
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律第6条第2項に規定される推進計画策定市町村数	0市町村	H27	15市町村 (38.5%)	R元	20市町村 (51%)		策定市町村数は微増であるが、毎年確実に策定数を増やしている(H30は13市町)。昨年度は2村をモデルとして計画策定支援を実施したため、策定市町村数は増加した。市町村担当課長会議等を通じて、他の未策定町村に対し、計画策定について継続して働きかけるとともに、令和元年度に作成した町村向け計画策定マニュアルを活用して、策定予定の町村に対し支援を行う。	市町村推進状 況調査	女性活躍推 進課	

※1 男性職員が妻の出産予定日の8週間(多胎妊娠の場合14週間)前の日から出産後8週間を経過する日までの期間に、生まれてくる子又は小学校就学前までの子を養育するための有給休暇(5日以内)。小学校就学前までの上の子どもがいない場合は、当該子の出生後のみ取得可能。

※2 子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業。

※3 *印を付した区分欄の項目については「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく「推進計画」該当部分と位置づけます。
なお、成果指標については①～⑥が「推進計画」該当部分です。

※4 目標年度は平成32年度ですが、それ以外の場合は目標年度を目標値欄の()内に記載しています。

※5 大学等には大学(学部)、短期大学(本科)、大学・短期大学の通信教育部(正規の課程)の他、専修学校(専門課程、一般課程)を含む。